

海のシルクロード

# 緋の道

2025年6月28日(土) — 9月21日(日)

午前9時30分 — 午後5時 休館：月曜日(ただし、7/21・8/11・9/15は開館)

観覧料：一般800円 高大生600円 中学生以下無料  
※その他、観覧料の減免、割引等については当館ウェブサイトをご確認ください。

主催：豊田市民芸館 共催：中日新聞社



Toyota City  
Folk Craft  
Museum

豊田市民芸館

竹虎<sup>ちよま</sup>文芋麻白経緯藍絵緋祝着 越後



緋衣裳をつけた女性像  
アジャンタ石窟壁画 インド 7世紀頃

布の織り上がりを想定し、糸の段階で染め分けてから織り成していく<sup>かすり</sup>模様がかすれた風合いに仕上がることがその名の由来です。インドのアジャンタ石窟壁画には、経緋の衣裳を身に着けた華やかな女性たちが描かれており、その起源を物語っています。緋はインドを源流とし、シルクロードを経てヨーロッパや中国まで及びました。また、インドから南に下ってインドネシア、フィリピンなどを経て沖縄へ伝わり、そこで技術が花開いたのち、日本各地に普及しました。この東南アジアを通った日本への伝播の道は航路によるもので、まさに「海のシルクロード」といえるでしょう。

本展では、色あざやかで軽やかな絹のパトラサリー、アニミズムに結びついたスンバ島の祭壇布、琉球王朝時代に織られた色柄が美しい沖縄の手織など、地域の風土に育まれた豊かな緋を、その伝播ルート「緋の道」とともにご紹介します。

## 第1章 世界の緋

インド・サラウエシ島・スンバ島・チモール島・フローレス島・バリ島・スマトラ島・ボルネオ島・フィリピン・タイ・トルキスタン・ウズベク・シリア・トルコ・フランス・アフリカ・ペルー 他



花文絹経緯緋パトラサリー  
インド・グジャラート州



馬上人像海老雄鶏文木綿経緋祭壇布  
スンバ島



幾何文経緯木綿経緋チャパン (衣服)  
トルキスタン (アフガニスタン)

### 記念講演会

写真紀行 緋の道 インド、インドネシア、そして沖縄

日時：7月19日(土) 午後2時～3時30分

講師：藤本巧氏 (写真家)

会場：豊田市民芸館 (第3民芸館)

聴講：無料 (ただし会期中の観覧券の提示必要)

定員：先着50名程度 (事前申込み不要)

### ギャラリートーク (学芸員による展示解説)

日時：7月26日(土)・8月23日(土)

いずれも午後2時～(1時間程度)

会場：第1民芸館集合

聴講：無料 (ただし、当日の観覧券の提示必要)



幾何文苧麻白経緯紅緋振袖 越後

## 第2章 日本の緋

沖縄 (喜如嘉・読谷・首里)・越後・久留米・京都・近江・大和・丹波・伊予・弓ヶ浜・出雲・山形 他



絹色格子緯緋<手織>  
沖縄・首里



藍染城緋蒲団地 久留米

### 同時開催 藤本巧写真紀行

緋の道 インド、インドネシア、そして沖縄



パトラ織り  
インド 1982



民芸の森「森のアート展」Vol.23「Expose Multiple Dimensions」  
7月15日(火)～9月15日(月・祝)



豊田市博物館「ブルックリン博物館所蔵 特別展 古代エジプト 振り起せ、三千年の謎」  
6月28日(土)～9月7日(日)



豊田市美術館「モノ 睡蓮のとき」  
6月21日(土)～9月15日(月・祝)

